



平成30年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年7月31日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社トライアイズ
 コード番号 4840 URL http://www.triis.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 池田 均
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員総務部長 (氏名) 小出 美紀 TEL 03-3221-0211
 四半期報告書提出予定日 平成30年8月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無: 無
 四半期決算説明会開催の有無: 無

(百万円未満切り捨て)

1. 平成30年12月期第2四半期の連結業績(平成30年1月1日～平成30年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する 四半期純利益 | |
|--------------|-------|-------|------|---|------|---|----------------------|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 30年12月期第2四半期 | 839 | △19.9 | △34 | — | △13 | — | △30 | — |
| 29年12月期第2四半期 | 1,048 | 27.3 | 53 | — | 89 | — | 38 | — |

(注) 包括利益 30年12月期第2四半期 △106百万円(—%) 29年12月期第2四半期 114百万円(—%)

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|--------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 30年12月期第2四半期 | △3.62 | — |
| 29年12月期第2四半期 | 4.50 | 4.23 |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | | 純資産 | | 自己資本比率 | |
|--------------|-------|--|-------|--|--------|--|
| | 百万円 | | 百万円 | | % | |
| 30年12月期第2四半期 | 5,664 | | 4,940 | | 84.2 | |
| 29年12月期 | 6,041 | | 5,130 | | 82.7 | |

(参考) 自己資本 30年12月期第2四半期 4,769百万円 29年12月期 4,995百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|-------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 29年12月期 | — | 0.00 | — | 15.00 | 15.00 |
| 30年12月期 | — | 0.00 | — | — | — |
| 30年12月期(予想) | — | — | — | 12.00 | 12.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

3. 平成30年12月期の連結業績予想(平成30年1月1日～平成30年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属 する当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|-------|-----|------|---|------|---|---------------------|-------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 1,828 | 2.9 | 55 | — | 52 | — | 8 | △93.8 | 1.01 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動): 無
新規 一社 (社名) 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用: 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

| | | | | |
|---------------------|-----------|------------|-----------|------------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 30年12月期2Q | 8,900,000株 | 29年12月期 | 8,900,000株 |
| ② 期末自己株式数 | 30年12月期2Q | 544,360株 | 29年12月期 | 560,340株 |
| ③ 期中平均株式数(四半期累計) | 30年12月期2Q | 8,346,067株 | 29年12月期2Q | 8,469,418株 |

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|----|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 3 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 6 |
| 四半期連結損益計算書 | |
| 第2四半期連結累計期間 | 6 |
| 四半期連結包括利益計算書 | |
| 第2四半期連結累計期間 | 7 |
| (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 | 8 |
| (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 10 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 10 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 10 |
| (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) | 10 |
| (追加情報) | 10 |
| (セグメント情報等) | 11 |
| (重要な後発事象) | 12 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府及び日銀の政策を背景に企業業績及び雇用情勢が改善し、緩やかな回復基調が続いているものの、賃金の伸び悩みから個人消費については節約志向が継続している状況にあり、当社にとっては厳しい経営環境が継続している状況であります。

また、米国新政権の政策動向、東アジアの経済動向及び北朝鮮情勢などの世界経済及び世界情勢の不確実性により、先行き不透明な状況が継続しております。

このような経済環境のなか、トライアイズグループは、景気変動の影響を受けない企業グループとして、小さくとも知性を使って、その世界ではNo. 1となり光る企業グループを目指すという方針のもと、「イノベーションによるコスト優位の確立」を最重要目標とし、売上が減少しても黒字化できる体質づくりを続けており、連結ベースで営業利益、経常利益及び最終利益の黒字化を目指しております。

この結果、当社グループの当第2四半期連結累計期間の売上高は839百万円(前年同期比19.9%減)、販売費及び一般管理費は408百万円(前年同期比6.6%減)と更なる削減を果たしたものの売上減少に伴う利益の減少を補うには至らず、営業損失は34百万円(前年同期は53百万円の営業利益)、経常損失は13百万円(前年同期は89百万円の経常利益)、税金等調整前四半期純損失は14百万円(前年同期は86百万円の税金等調整前四半期純利益)、親会社株主に帰属する四半期純損失は30百万円(前年同期は38百万円の親会社株主に帰属する四半期純利益)となりました。

当第2四半期連結累計期間におけるセグメント別の業績は以下のとおりです。

(建設コンサルタント事業)

建設コンサルタント事業においては、従来型ダム関連業務、河川防災・減災対策業務および海岸保全業務を中心に受注しました。引き続き、発注比率が高まっている防災・減災対策関連業務やダム、河川構造物、海岸・港湾分野の維持管理を中心とした継続性の高い業務の受注シェア拡大と人員体制の整備等生産性を向上させる施策の実行により、収益の改善を図ります。

当第2四半期連結累計期間の売上高は、受注も堅調に推移したものの、第2四半期に計上予定の大型案件の工期が来年度以降に延長となったほか、これらの大型案件に関する進行基準の適用にむけての体制の整備及び調整が難航して当年度の適用が見送られたことを受け、504百万円(前年同期比16.3%減)、営業損失は32百万円(前年同期は14百万円の営業利益)となりました。

(ファッションブランド事業)

ファッションブランド事業においては、Eコマースによる消費が拡大しているものの、消費者の節約志向が依然として強く、引き続き厳しい経営環境となりました。そういったなか、東京ブラウス(株)では、ブランドCLATHRASについて、新たな顧客を獲得するため、今後成長が見込める販路の開拓を進めております。また、台湾現地法人の拓莉司国際有限公司においては、現地パートナーと新しい商品開発を進めており、国内外を問わず、ライセンス事業の強化による収益の拡大を図ります。

濱野皮革工芸(株)については、軽井沢工場の所在地である長野県御代田町におけるふるさと納税の返戻品として引き続き認定されているほか、テレビ大阪系列「和風総本家」において「皇室を支える職人&過酷な現場で働くお父さん」特集でも同社のハンドバッグが取り上げられました。これまでの130年余の伝統と技術を継承しながら、ブランド価値を向上させるための施策に取り組んでおります。

また、平成30年7月に濱野皮革工芸(株)、東京ブラウス(株)及び(株)セレクトィブの3社は、濱野皮革工芸(株)を存続会社とする吸収合併を行いました。これにより、ファッションブランド事業における収益力の強化及び効率的な業務運営を目指してまいります。具体的には、新会社において3社の共通業務の集約を図るとともに、3社が保有するノウハウや販路を共有し、製造から販売までの一貫した効率的なオペレーションの構築・強化を行うことにより、製販一体の事業体制を推進してまいります。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は300百万円(前年同期比26.9%減)、営業利益は2百万円(前年同期比90.8%減)となりました。

(投資事業)

投資事業においては、引き続き米国の子会社TRIIS INTERNATIONAL AMERICA INC.において、住居用物件と工業用物件の賃貸をしております。さらに、商業用物件の取得についても検討しております。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は35百万円(前年同期比0.1%減)、営業利益は11百万円(前年同期比110.2%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ377百万円減少し、5,664百万円となりました。これは主に、「現金及び預金」、「受取手形及び売掛金」、「有価証券」及び流動資産「その他」がそれぞれ64百万円、86百万円、108百万円及び116百万円減少したことによるものであります。

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ187百万円減少し、723百万円となりました。これは主に「支払手形及び買掛金」、「未払法人税等」及び流動負債の「その他」がそれぞれ56百万円、73百万円及び114百万円減少したことによるものであります。

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ190百万円減少し、4,940百万円となりました。これは主に、配当金の支払に伴う利益剰余金125百万円の減少、親会社株主に帰属する四半期純損失計上に伴う利益剰余金30百万円の減少、為替相場の変動による「為替換算調整勘定」75百万円の減少及び「自己株式」5百万円の減少によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、2,212百万円となり、連結会計年度末に比べ22百万円減少となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は127百万円（前年同期は437百万円の回収）となりました。これは主に、減価償却費28百万円、のれん償却額16百万円、賞与引当金の増減額32百万円、売上債権の増減額85百万円、前受金の増減額36百万円及び法人税等の還付額123百万円（いずれも収入）のほか、仕入債務の増減額56百万円、未払金の増減額51百万円及び法人税等の支払額88百万円（いずれも支出）によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果得られた資金は20百万円（前年同期は1,106百万円の使用）となりました。これは主に、投資有価証券の償還による収入100百万円、有形固定資産の取得による支出47百万円及び敷金の差入による支出34百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は122百万円（前年同期は147百万円の使用）となりました。これは主に配当金の支払123百万円、自己株式の処分による収入5百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点において、平成30年2月15日に公表しました通期連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成29年12月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (平成30年6月30日) |
|-------------|--------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 3,393,323 | 3,328,732 |
| 受取手形及び売掛金 | 138,870 | 52,703 |
| 有価証券 | 293,456 | 185,331 |
| 商品及び製品 | 196,046 | 191,212 |
| 仕掛品 | 180,934 | 188,086 |
| 原材料及び貯蔵品 | 48,701 | 39,731 |
| 繰延税金資産 | 51,576 | 51,278 |
| その他 | 171,617 | 55,190 |
| 貸倒引当金 | △8 | △8 |
| 流動資産合計 | 4,474,518 | 4,092,258 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物(純額) | 664,546 | 624,305 |
| 土地 | 620,202 | 604,077 |
| その他(純額) | 12,005 | 54,688 |
| 有形固定資産合計 | 1,296,753 | 1,283,070 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 33,461 | 16,730 |
| その他 | 30,660 | 31,109 |
| 無形固定資産合計 | 64,121 | 47,840 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 0 | 0 |
| 繰延税金資産 | 57 | 57 |
| その他 | 224,178 | 258,352 |
| 貸倒引当金 | △17,735 | △17,435 |
| 投資その他の資産合計 | 206,499 | 240,974 |
| 固定資産合計 | 1,567,375 | 1,571,885 |
| 資産合計 | 6,041,894 | 5,664,143 |

(単位:千円)

| | 前連結会計年度 (平成29年12月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (平成30年6月30日) |
|---------------|--------------------------|------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 81,484 | 25,107 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 6,242 | 6,128 |
| 未払法人税等 | 89,898 | 15,935 |
| 賞与引当金 | — | 32,208 |
| 受注損失引当金 | 18,226 | 18,061 |
| 返品調整引当金 | 2,871 | 1,975 |
| 前受金 | 236,629 | 273,187 |
| その他 | 179,866 | 65,849 |
| 流動負債合計 | 615,218 | 438,453 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 214,027 | 203,733 |
| 資産除去債務 | 38,070 | 38,146 |
| その他 | 43,634 | 43,435 |
| 固定負債合計 | 295,733 | 285,315 |
| 負債合計 | 910,952 | 723,768 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 5,000,000 | 5,000,000 |
| 資本剰余金 | 879,240 | 878,683 |
| 利益剰余金 | △728,699 | △884,299 |
| 自己株式 | △197,735 | △192,120 |
| 株主資本合計 | 4,952,805 | 4,802,263 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| 為替換算調整勘定 | 42,956 | △32,864 |
| その他の包括利益累計額合計 | 42,956 | △32,864 |
| 新株予約権 | 135,180 | 170,976 |
| 純資産合計 | 5,130,942 | 4,940,375 |
| 負債純資産合計 | 6,041,894 | 5,664,143 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年6月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成30年1月1日 至平成30年6月30日) |
|---------------------------------------|---|---|
| 売上高 | 1,048,496 | 839,721 |
| 売上原価 | 558,529 | 466,147 |
| 売上総利益 | 489,966 | 373,574 |
| 販売費及び一般管理費 | 436,877 | 408,204 |
| 営業利益又は営業損失(△) | 53,088 | △34,630 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 14,037 | 18,162 |
| デリバティブ評価益 | 7,911 | — |
| 投資有価証券清算分配金 | 6,088 | 7,746 |
| 不動産賃貸収入 | 8,750 | — |
| 未払配当金除斥益 | 6,110 | 4,644 |
| その他 | 1,196 | 3,628 |
| 営業外収益合計 | 44,095 | 34,181 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 3,439 | 3,325 |
| 不動産賃貸原価 | 3,427 | — |
| 支払手数料 | 345 | — |
| デリバティブ評価損 | — | 8,124 |
| 為替差損 | 26 | 82 |
| その他 | 183 | 1,033 |
| 営業外費用合計 | 7,423 | 12,565 |
| 経常利益又は経常損失(△) | 89,761 | △13,014 |
| 特別利益 | | |
| 新株予約権戻入益 | — | 847 |
| 特別利益合計 | — | 847 |
| 特別損失 | | |
| 減損損失 | 2,874 | 2,628 |
| その他 | 0 | — |
| 特別損失合計 | 2,874 | 2,628 |
| 税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△) | 86,886 | △14,796 |
| 法人税等 | 48,814 | 15,438 |
| 四半期純利益又は四半期純損失(△) | 38,071 | △30,235 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△) | 38,071 | △30,235 |

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年6月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成30年1月1日 至平成30年6月30日) |
|-------------------|---|---|
| 四半期純利益又は四半期純損失(△) | 38,071 | △30,235 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | — | — |
| 為替換算調整勘定 | 75,942 | △75,821 |
| その他の包括利益合計 | 75,942 | △75,821 |
| 四半期包括利益 | 114,014 | △106,056 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 114,014 | △106,056 |

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年6月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成30年1月1日 至平成30年6月30日) |
|-------------------------------|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△) | 86,886 | △14,796 |
| 減価償却費 | 22,403 | 28,266 |
| 減損損失 | 2,874 | 2,628 |
| のれん償却額 | 70,686 | 16,730 |
| 株式報酬費用 | 15,869 | 40,380 |
| 貸倒引当金の増減額(△は減少) | 707 | △299 |
| 賞与引当金の増減額(△は減少) | 33,162 | 32,208 |
| 受注損失引当金の増減額(△は減少) | △1,874 | △164 |
| 返品調整引当金の増減額(△は減少) | 218 | △896 |
| 受取利息及び受取配当金 | △14,037 | △18,162 |
| デリバティブ評価損益(△は益) | △7,911 | 8,124 |
| 投資有価証券清算分配金 | △6,088 | △7,746 |
| 為替差損益(△は益) | 25 | 25 |
| 支払利息 | 3,439 | 3,325 |
| 売上債権の増減額(△は増加) | △14,528 | 85,946 |
| 破産更生債権等の増減額(△は増加) | 300 | 300 |
| たな卸資産の増減額(△は増加) | 79,994 | 6,652 |
| 未収入金の増減額(△は増加) | 591 | △3,603 |
| 仕入債務の増減額(△は減少) | △23,716 | △56,376 |
| 前受金の増減額(△は減少) | 65,391 | 36,558 |
| 未払金の増減額(△は減少) | △53,764 | △51,457 |
| その他 | 167,294 | △30,413 |
| 小計 | 427,922 | 77,230 |
| 利息及び配当金の受取額 | 14,040 | 18,163 |
| 利息の支払額 | △3,439 | △3,325 |
| 法人税等の還付額 | 11,923 | 123,581 |
| 法人税等の支払額 | △13,050 | △88,009 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 437,397 | 127,641 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 定期預金の預入による支出 | △1,112,900 | — |
| 有形固定資産の取得による支出 | △138 | △47,233 |
| 無形固定資産の取得による支出 | △6,283 | △4,374 |
| 投資有価証券の清算による収入 | 6,088 | 7,746 |
| 投資有価証券の償還による収入 | — | 100,000 |
| 貸付けによる支出 | △840 | △945 |
| 貸付金の回収による収入 | 8,224 | 2,939 |
| 敷金の差入による支出 | — | △34,209 |
| その他 | △1,026 | △3,196 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △1,106,875 | 20,727 |

(単位:千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 平成29年1月1日 至 平成29年6月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 平成30年1月1日 至 平成30年6月30日) |
|---------------------|---|---|
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 長期借入金の返済による支出 | △2,951 | △2,992 |
| 自己株式の処分による収入 | 291 | 5,288 |
| 自己株式の取得による支出 | △41,431 | △400 |
| 配当金の支払額 | △103,726 | △123,932 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △147,818 | △122,037 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | 30,374 | △49,019 |
| 現金及び現金同等物の増減額(△は減少) | △786,921 | △22,687 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 2,547,300 | 2,235,209 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 1,760,378 | 2,212,521 |

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益又は税引前当期純損失に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失に当該見積実効税率を乗じて計算しております。但し、見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用しております。

(追加情報)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成29年1月1日 至平成29年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | | 調整額 (注) 1 | 四半期連結損 益計算書計上 額(注) 2 |
|-------------------|---------------------|----------------------|--------|-----------|--------------|----------------------------|
| | 建設コンサル タント事 業 | ファッショ ンブランド 事業 | 投資事業 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 602,333 | 411,065 | 35,096 | 1,048,496 | — | 1,048,496 |
| セグメント間の内部売上高又は振替高 | — | 2,118 | — | 2,118 | △2,118 | — |
| 計 | 602,333 | 413,183 | 35,096 | 1,050,614 | △2,118 | 1,048,496 |
| セグメント利益 | 14,613 | 32,642 | 5,701 | 52,957 | 130 | 53,088 |

(注) 1. セグメント利益の調整額130千円には、セグメント間取引消去12,259千円、各報告セグメントに配分していない全社収益及び全社費用の純額△12,128千円が含まれております。全社収益は、主に子会社からの経営指導料であり、全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

当第2四半期連結累計期間において減損損失を「建設コンサルタント事業」で2,874千円を計上しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成30年1月1日 至平成30年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | | 調整額 (注) 1 | 四半期連結損 益計算書計上 額(注) 2 |
|-------------------|---------------------|----------------------|--------|---------|--------------|----------------------------|
| | 建設コンサル タント事 業 | ファッショ ンブランド 事業 | 投資事業 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 504,176 | 300,513 | 35,031 | 839,721 | — | 839,721 |
| セグメント間の内部売上高又は振替高 | — | 248 | — | 248 | △248 | — |
| 計 | 504,176 | 300,762 | 35,031 | 839,970 | △248 | 839,721 |
| セグメント利益又は損失(△) | △32,566 | 2,995 | 11,989 | △17,580 | △17,049 | △34,630 |

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△17,049千円には、セグメント間取引消去12,840千円、各報告セグメントに配分していない全社収益及び全社費用の純額△29,889千円が含まれております。全社収益は、主に子会社からの経営指導料であり、全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

当第2四半期連結累計期間において減損損失を「建設コンサルタント事業」で2,628千円を計上しております。

(重要な後発事象)

当社の連結子会社である CLATHAS LLCは平成30年6月19日開催の取締役会において固定資産の取得及び当該固定資産の取得のための借入を決議いたしました。

1. 連結子会社の名称

- ①名称 : CLATHAS LLC (当社の連結子会社TRIIS INTERNATIONAL AMERICA INC.による100%出資)
- ②所在地 : 1003 Bishop Street, Suite 1600, Honolulu, Hawaii 96813 USA
- ③資本金 : 1,000米ドル
- ④事業内容 : 不動産並びに証券投資

2. 固定資産取得の目的

当社グループの投資事業の強化及び安定的な収益の確保を目的として収益物件を取得いたしました。

3. 取得固定資産の内容

- ①資産の名称 : 商業物件 (建物及び土地)
- ②所在地 : 911Middle Street. Oahu, Hawaii 96819-2317 USA
- ③取得価格 : 27百万米ドル
- ④資産の現況 : 賃貸中

4. 借入金の概要

- ①借入先 : First Hawaiian Bank
- ②借入金額 : 17百万米ドル
- ③金利 : 年4.66%
- ④借入期間 : 平成30年6月～平成40年5月
- ⑤実行日 : 平成30年6月19日
- ⑥返済方法 : 分割返済
- ⑦その他 : 担保提供あり (建物及び土地)